



## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2023年10月26日

上場会社名 小松ウオール工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 7949

URL <https://www.komatsuwall.co.jp/>

代表者(役職名) 代表取締役社長

(氏名) 加納 慎也

問合せ先責任者(役職名) 取締役常務執行役員管理本部長

(氏名) 綾 由紀夫 (TEL) 0761-21-3131

四半期報告書提出予定日 2023年11月10日

配当支払開始予定日

2023年11月27日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期の業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	19,691	22.5	1,300	360.2	1,373	339.8	950	382.7
2023年3月期第2四半期	16,074	0.8	282	△45.9	312	△44.6	196	△42.4

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	102.19	—
2023年3月期第2四半期	21.20	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	44,456	36,754	82.7
2023年3月期	44,760	36,225	80.9

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 36,754百万円 2023年3月期 36,225百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	40.00	—	55.00	95.00
2024年3月期	—	55.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	65.00	120.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,500	9.9	3,400	47.4	3,470	46.8	2,320	42.5	249.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年3月期2Q	10,903,240株	2023年3月期	10,903,240株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	1,580,351株	2023年3月期	1,615,689株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年3月期2Q	9,300,699株	2023年3月期2Q	9,286,476株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、「株式給付信託(BBT)」に係る信託財産として、株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が保有する当社株式(2024年3月期2Q 143,000株、2023年3月期 178,500株、2023年3月期2Q 178,500株)が含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予想情報に関する説明」の記載事項をご覧ください。

## 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、世界的な金融引き締めに伴う海外景気の下振れにより、わが国景気への影響が懸念される一方で、新型コロナウイルス感染症対策の方針転換によって経済活動の正常化が着実に進み、雇用や所得環境が改善する中で景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

このような状況にあつて当社は、当期が初年度となる中期経営計画「NEXT VISION 2028」に基づき、3つの基本方針「既存間仕切事業の成長」「新規製品の創出」「生産・物流オペレーションの高度化」に取り組んでまいりました。また、オフィス需要のさらなる開拓を目的として、愛知県名古屋市に名古屋ショールームを新設し、積極的なPR活動を行いました。

当第2四半期累計期間の経営成績につきましては、首都圏を中心とした主要都市部における旺盛なオフィス需要を背景に、特にオフィス向けが順調に伸び、学校・体育施設、福祉・厚生施設、工場向けも好調に推移し、売上高は196億91百万円（前年同四半期比22.5%増）となりました。また、原材料価格の上昇を受けて進めてきた販売価格の適正化が高い水準で浸透したことも増収に寄与しました。品目別では、オフィス需要の増加により、可動間仕切を中心に好調に推移しております。受注高は226億97百万円（前年同四半期比11.1%増）となり、特に固定間仕切が好調に推移いたしました。受注残高は195億52百万円（前年同四半期比5.7%増）となり、増加傾向を維持しております。

利益面につきましては、販売価格の適正化が浸透したことで、売上総利益率は33.3%（前年同四半期比1.9ポイント改善）となり、営業利益13億円（前年同四半期比360.2%増）、経常利益13億73百万円（前年同四半期比339.8%増）、四半期純利益9億50百万円（前年同四半期比382.7%増）となりました。

当第2四半期累計期間の品目別売上高、受注高及び受注残高は次のとおりです。

## 品目別売上高、受注高及び受注残高

(単位：百万円)

当第2四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)						
品目	売上高		受注高		受注残高	
	金額	前年同 四半期比 (%)	金額	前年同 四半期比 (%)	金額	前年同 四半期比 (%)
可動間仕切	8,611	125.2	8,737	108.9	4,323	95.3
固定間仕切	4,109	125.2	5,887	153.7	6,085	130.5
トイレブース	3,341	120.5	4,380	110.3	4,170	113.7
移動間仕切	2,651	114.9	2,850	79.5	4,593	92.6
ロー間仕切	294	114.7	302	106.6	94	98.2
その他	683	118.4	538	72.4	284	50.2
合計	19,691	122.5	22,697	111.1	19,552	105.7

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間の末日における財政状態は、総資産は444億56百万円となり、前事業年度末と比較して3億4百万円の減少となりました。

資産の部では、流動資産は295億93百万円となり、前事業年度末と比較して4億6百万円の減少となりました。これは主に、現金及び預金12億68百万円等の増加と、受取手形、売掛金及び契約資産12億28百万円、電子記録債権4億5百万円等の減少によるものであります。固定資産は148億62百万円となり、前事業年度末と比較して1億1百万円の増加となりました。

負債の部では、流動負債は53億27百万円となり、前事業年度末と比較して7億70百万円の減少となりました。これは主に、買掛金2億91百万円、未払法人税等2億29百万円、流動負債「その他」に含まれる未払金3億35百万円等の減少によるものであります。固定負債は23億74百万円となり、前事業年度末と比較して62百万円の減少となりました。

純資産の部では、純資産の総額は367億54百万円となり、前事業年度末と比較して5億29百万円の増加となりました。以上の結果、自己資本比率は82.7%となりました。

当第2四半期累計期間におけるキャッシュ・フローにつきましては、内部留保の充実を図りつつ、運転資金、設備投資、株主還元等へ資金を充当しております。

その結果、当第2四半期累計期間の末日における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、127億34百万円（前年同四半期累計期間末は126億3百万円）となりました。なお、当第2四半期累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により増加した資金は、24億24百万円（前年同四半期は21億10百万円の増加）となりました。これは主に、税引前四半期純利益13億73百万円の計上、売上債権の減少額16億33百万円、減価償却費5億22百万円等による増加と、法人税等の支払額6億53百万円、仕入債務の減少額2億91百万円等による減少によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により減少した資金は、6億37百万円（前年同四半期は3億27百万円の減少）となりました。これは主に、有形固定資産及び無形固定資産の取得による支出6億64百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により減少した資金は、5億28百万円（前年同四半期は4億26百万円の減少）となりました。これは主に、配当金の支払額5億20百万円等による減少によるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の通期の業績予想につきましては、2023年10月26日に公表しました「第2四半期業績予想と実績との差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」のとおりです。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	15,579	16,847
受取手形、売掛金及び契約資産	10,253	9,025
電子記録債権	2,929	2,524
棚卸資産	1,023	1,069
その他	214	127
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	29,999	29,593
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	11,396	11,651
機械装置及び運搬具	7,622	7,643
土地	4,646	4,646
その他	1,621	1,777
減価償却累計額	△13,364	△13,740
有形固定資産合計	11,922	11,978
無形固定資産	420	400
投資その他の資産		
その他	2,425	2,490
貸倒引当金	△6	△6
投資その他の資産合計	2,418	2,483
固定資産合計	14,760	14,862
資産合計	44,760	44,456
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,345	2,054
未払法人税等	732	503
賞与引当金	1,250	1,260
その他	1,769	1,509
流動負債合計	6,098	5,327
固定負債		
退職給付引当金	1,810	1,841
役員退職慰労引当金	86	—
役員株式給付引当金	209	178
その他	330	354
固定負債合計	2,437	2,374
負債合計	8,535	7,701

(単位：百万円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,099	3,099
資本剰余金	3,035	3,035
利益剰余金	32,627	33,056
自己株式	△2,582	△2,525
株主資本合計	36,180	36,666
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	45	87
評価・換算差額等合計	45	87
純資産合計	36,225	36,754
負債純資産合計	44,760	44,456

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上高	16,074	19,691
売上原価	11,025	13,140
売上総利益	5,048	6,550
販売費及び一般管理費	4,766	5,250
営業利益	282	1,300
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	6	5
受取保険金	—	41
受取家賃	13	13
その他	8	12
営業外収益合計	29	72
経常利益	312	1,373
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	28	—
特別利益合計	28	0
特別損失		
固定資産除売却損	0	0
投資有価証券売却損	0	—
特別損失合計	0	0
税引前四半期純利益	340	1,373
法人税、住民税及び事業税	153	428
法人税等調整額	△9	△5
法人税等合計	144	423
四半期純利益	196	950



## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	340	1,373
減価償却費	503	522
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1	△0
受取利息及び受取配当金	△7	△5
売上債権の増減額 (△は増加)	1,986	1,633
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△171	△46
仕入債務の増減額 (△は減少)	△217	△291
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	66	31
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	—	△86
役員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	21	△31
その他	△206	△26
小計	2,313	3,072
利息及び配当金の受取額	7	5
法人税等の支払額	△210	△653
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,110	2,424
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△4,000	△4,000
定期預金の払戻による収入	4,000	4,000
有形固定資産の取得による支出	△265	△611
有形固定資産の売却による収入	0	3
無形固定資産の取得による支出	△54	△52
投資有価証券の売却による収入	46	—
保険積立金の払戻による収入	—	250
その他	△55	△226
投資活動によるキャッシュ・フロー	△327	△637
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
リース債務の返済による支出	—	△7
自己株式の取得による支出	—	△0
配当金の支払額	△426	△520
財務活動によるキャッシュ・フロー	△426	△528
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,356	1,258
現金及び現金同等物の期首残高	11,246	11,476
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,603	12,734

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。